

# 困った時の

# Q&A

## Q 物が「盗まれた」と話すときは？



### A

- **しまった場所を忘れ、盗まれたと思い込んでいる**

反論せず「それは困りましたね、一緒に探しましょう」と共感し、大事なものがなくなった不安を受け止めるようにする

- **本人に見つけてもらう**

本人以外の人が見つけた場合、その人に疑いがいつてしまう場合もあります。本人以外の人が見つけた場合、ここにありましたとは言わず、「この辺りを探してみませんか」と言い本人に見つけてもらうことが大切です

## Q お風呂に入りたがらないときは？



### A

- **服を脱ぐ、人前で裸になるのが恥ずかしいかも**  
プライバシーに気をつけながらお風呂に誘う

- **好きな物で誘ってみる**

「さっぱりしたら、アイスクリームを食べましょう」等好きな物を提案してみる

- **お風呂の手順がわからなくなっている可能性がある**  
可能であれば「一緒にはいろう」と声をかけて必要なお手伝いをする

- **疲れて面倒くさい、体力を使う**

お風呂に入るのは体力を使います。疲労があるときは手短かにしたり、どうしても嫌がる時は無理をせず足浴や身体を拭く等で対応する

周りを悩ませる認知症の方の不可解な行動・

困った行動にも本人なりの理由があります。

認知症の進行に応じた症状であることを理解し、気持ちに寄り添って接することが大切です。

## Q 家に居るのに「帰る」と言うときは？

そろそろ  
おいとまを...



### A

- **気持ちを受け止めて関心をそらす**

聞いてくれただけでもすっきりしてしまうこともあります

- **お家へ帰りた理由を確認する**

主人や子供が帰ってくるのでご飯を作る、と話す時は「外食してくると連絡がありましたよ」等不安を取り除く対応を行う

- **安心できる環境をつくる**

本人のなじみのある物を目に見える位置に置くなどして安心感を与える

- **散歩に出かける**

外へ出ようとするのを無理やり止めると、興奮して暴れる場合も。一緒に自宅周辺を歩く等して落ちついてもらう

## Q 薬をのむことを嫌がるときは？



### A

- **医師に相談する**

薬をのむことの大切さを本人へ説明。時間、回数、量、形状など本人が飲めるよう調整する

- **のみ方の工夫をする**

ゼリー状のオブラートを使用したりし、のみ込みやすい方法の工夫

- **介助者を替えてみる**

別の方が介助すると服薬できるかもしれません

- **副作用の確認を行う**

便秘や下痢など副作用が出ていないか確認する